

国際交流：学生の海外派遣成果の公表（2024年度）

(2024.11.1現在)

担当部署	プログラム名	主な留学先	派遣期間 (2024年4月1日～ 2025年3月31日の期間 に派遣を開始)	派遣者数	派遣目的	教育研究活動内容 [派遣事業の内容]	評価方法	成果 [認定単位数]		
国際センター	協定校派遣留学 (長期公費交換)	アメリカ	8～10ヶ月	11名	本学と学生交換・派遣協定を締結している大学へ2学期間派遣する。本学のグローバル人材を育成するためのプログラムとなり、派遣先国の言語を学ぶだけでなく、各自の専門分野に応じた専門科目を受講する。留学により、海外の大学で専門知識を深く勉強し、異文化や異なる価値観に接することにより、国際的な視野をもち、主体的に活躍できるようになることを目的としている。	派遣地域の語学習得と共に一般科目についても履修することで、高いレベルでの語学運用能力と多様な知識を身に付け、更に現地での様々な国際交流を通し、グローバルな視野を身に付ける。帰国後には、留学報告会にて自身の留学体験を報告し、また帰国報告書の作成を義務付けており、本学HPに掲載している。	派遣先大学にて履修した科目の内、合格基準に達した科目について、授業時間数に応じ単位を認定する。認定単位数は、授業時間数1350分につき、講義・演習科目については2単位、実験・実技・実習科目については1単位として換算し、本人の申請に基づき学部教授会が承認した科目に振り替える。科目内容が両校で一致する場合には、科目間での単位認定を行う。各学期の認定単位数は22単位を上限とする。単位認定は、学部教務委員会の審議を得て、学部教授会にて行う。	1～44単位		
		フィリピン		2名						
		タイ		1名						
		韓国		2名						
	協定校派遣留学 (中期公費交換・私費)	アメリカ	4ヶ月	5名	本学と学生交換・派遣協定を締結している大学へ1学期間派遣する。本学のグローバル人材を育成するためのプログラムとなり、派遣先国の言語を学ぶだけでなく、各自の専門分野に応じた専門科目を受講する。留学により、海外の大学で専門知識を深く勉強し、異文化や異なる価値観に接することにより、国際的な視野をもち、主体的に活躍できるようになることを目的としている。			1～22単位		
		カナダ		7名						
		フィリピン		2名						
		インドネシア		2名						
		韓国		5名						
	夏季短期留学	留学 (アメリカ、韓国、インドネシア)	2週間～4週間	36名	本学協定校を中心とした現地教育機関にて、派遣地域の語学（英語、韓国語、インドネシア語）を学ぶと共にその国の文化を体験することを目的としている。短期間の留学経験によって、関心の幅を広げ、自身の成長の機会へと繋げて行くことが期待される。			派遣地域での語学学習と共にその地の文化を体験する。参加者の語学レベルに応じクラス編成を行う。	現地教育機関からの成績を元に授業時間数に応じ、1350分を2単位として換算し、別に定める各学部カリキュラム科目にて認定（R）される。単位認定は、学部教務委員会の審議を得て、学部教授会にて行う。 *但し、インドネシアについては30時間を1単位（フィールドワーク）、675分を1単位（授業）として換算している。	2～6単位
		国際ボランティア (カンボジア、スリランカ)	2週間	5名	国際協力の現場で働きながら、異文化を体験することを目的としている。			ボランティア施設で現地スタッフと共に働くことで、国際的な社会貢献の在り方を学ぶ。	30時間を1単位（ボランティア）として換算し、修了証、レポートを元に別に定める各学部カリキュラム科目にて評価される。単位認定は、学部教務委員会の審議を得て、学部教授会にて行う。	2単位
		留学 (ニュージーランド、タイ、フィリピン)	3週間～8週間	51名	本学協定校を中心とした現地教育機関にて、派遣地域の語学（英語）を学ぶと共にその国の文化を体験することを目的としている。短期間の留学経験によって、関心の幅を広げ、自身の成長の機会へと繋げて行くことが期待される。			派遣地域での語学学習と共にその地の文化を体験する。参加者の語学レベルに応じクラス編成を行う。	現地教育機関からの成績を元に授業時間数に応じ、1350分を2単位として換算し、別に定める各学部カリキュラム科目にて認定（R）される。単位認定は、学部教務委員会の審議を得て、学部教授会にて行う。	4～6単位